

香 芝 市

魅力は“みつば”のかしば ～「くらしば しごとば めぐりば 香芝」～

奈良盆地西端に位置する香芝市は、1991年に県下10番目の市として市制施行し、昨年30周年を迎えた。「くらしば」としての緑豊かで交通アクセスが良い住環境や子育てサポートの充実、「しごとば」としての靴下産業や研磨産業などの伝統ある産業と創業支援の充実、「めぐりば」としての景色を彩る二上山、大坂山口神社や屯鶴峯などゆかりの地巡りができる観光スポットの充実などみつば（3つの場）に注目すると香芝市の魅力が見えてくる。

I 概要

1. 地理と歴史

香芝市は奈良県北西部に位置し、金剛生駒紀泉国立公園を挟んで大阪府太子町と接する人口78,113人（県内39市町村中5位）、世帯数29,609世帯（同5位）、面積24.26km²（同26位）の市である（総務省「国勢調査 人口等基本集計」（2020年））。同市は1956年に北葛城郡五位堂村・下田村・二上村・志都美村が合併し香芝町となり、その後住宅開発等による人口の増加に伴い1991年に香芝市となった。

高速道路や鉄道による京阪神へのアクセスが充実しており、特に大阪市内への通勤・通学は最短だと車で約30分、鉄道で約35分と通いやすく便利な立地である。

地場産業は古くから鋳物づくりが盛んな地域で、明治時代には研磨剤として用いられた金剛砂産業が発展し、明治後期には靴下産業が興った。

2. 産業構造

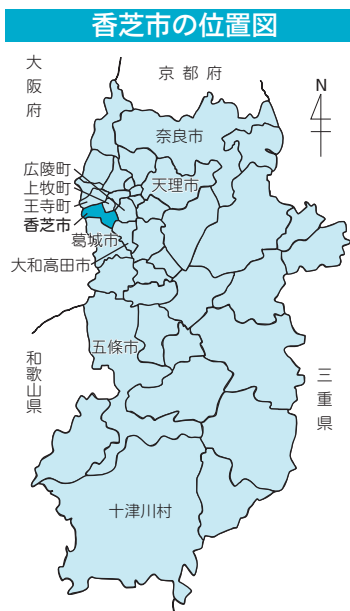
従業地による就業者人口（15歳以上）の産業

別割合を見ると、第1次産業が0.6%、第2次産業が27.0%、第3次産業が72.4%と、奈良県全体（順に3.4%、22.2%、74.4%）と比べて第2次産業のウェイトが高い（総務省「国勢調査 従業地・通学地による人口・就業状態等集計」（2015年））。

民営事業所数は1,903か所（県内8位）で従業者数は16,165人（同8位）となっている。（総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」（2016年））。

3. 県内で人口増加率が1番の住宅都市

自然豊かな住環境と大都市へのアクセスの良さなどから住宅都市として発展してきた香芝市は県内では数少ない人口増加都市であり、2000年から20年間で人口は約1万5千人増加し、その増加率は県内1位である。



II まちづくりの方針

1. まちの将来像

香芝市では、令和2年6月に第6代香芝市長となった福岡憲宏氏がリーダーシップをとり、まちの将来像「笑顔をもっと 元気をずっと～誰もが輝く多彩なまち カラフルかしば～」を実現させるために7つの政策と33の施策を盛り込んだ「第5次香芝市総合計画（以下「総合計画」という。）」を策定し、令和3年4月にスタートさせた。

総合計画に係る香芝市の方針と先日面談した市長から取材した要旨を紹介する。

【第5次香芝市総合計画 香芝市方針】

新しいステージの1つ目として、第4次総合計画の理念を受け継ぎ、住宅都市としての「暮らしやすさ」をさらに深め、もっと住みよい高品質の都市を目指していきたいと考えています。そして2つ目として、「住む」だけにとどまらず、「働く」「遊ぶ」「活動する」「訪れる」など多彩なまちの機能と魅力を発掘・創造していきたいと考えています。そうすることで、香芝に関わるすべての人たちの多様な暮らし、多様な生き方を可能にし、人が集まり、活気あるまちにつながると信じています。

福岡憲宏香芝市長より

【まちに対する誇りを高めたい】

- ・市民の方が「どちら出身ですか」と尋ねられた時に、「奈良」ではなく「香芝です」と答えたいような、さらには「香芝は素晴らしいまちですね」と言っていただけのようなまちづくりをしていくことが理想です。市民の方がまちに対する誇りを持って頂ければ、一度市外で暮らしたとしても子育ての際に再び帰ってきてもらえるのではないのでしょうか。

【子育てや福祉について】

- ・令和3年度から、子ども医療費の助成対象年齢を18歳の年度末まで拡大しました。本市と同規模の自治体で、18歳までの医療費補助を実施しているところは関西でも少ないと思います。
- ・福祉に関する施策として、バリアフリー化、手すりの設置、音声式のメニューの案内や会話ボードの設置など合理的配慮の提供に関する補助制度を拡充しました。こうした小さな取組を支援することで、多くの事業者に参画を促し、より多くの住民がまちづくりに関わることを期待しています。

2. まちの魅力「“みつば”のかしば」

香芝市はシティプロモーションに力を入れており、「“みつば”のかしば」をブランドコンセプトに設定し、まちの魅力を「3つの場」から紹介している。



シティプロモーションパンフレット

【くらしば】

まち全体が緑豊かでありながら、抜群のアクセスの良さが自慢。子どもの元気と笑顔を大切にする子育てファミリーにやさしい住み良いくらしの場。

【しごとば】

靴下産業や研磨産業など伝統ある産業と新しい産業が共存しており、事業創出の支援も充実するしごとの場。

【めぐりば】

歴史が息づく寺社仏閣をめぐれば、時の流れに思いを馳せることができ、めぐるほどに新しい魅力を発見できる場。

(1) 暮らしやすさの魅力について【くらしば】

① 子育てのしやすさ

香芝市では人口増加都市として子育てのしやすさを重視して取り組んできたため、子育ての時期に応じた支援・サービスが手厚く、保育所数7か所、幼稚園数6か所、認定こども園数10か所、小規模保育園4か所（2022年4月現在）と育児施設が充実している。また、ハード面だけでなくきめ細かな妊婦健康診査、子育ての応援をして欲しい人と応援したい人をマッチングするファミリーサポートクラブでの相互援助等、育児支援のソフ

ト面も充実している。民間企業が実施した「子育て世帯」の住みこちの調査（2021年調査）では関西2府4県の198自治体中で18位、奈良県内では1位となるなど、これらの施策は市民等から喜ばれている。

②市外からの交通アクセスの良さ



交通アクセス

交通アクセスの良さも「くらしば」としての魅力である。市外からの自動車・鉄道のアクセスが良く、自動車では西名阪自動車道の香芝IC、鉄道では近鉄線・JR線の8つの駅が点在している。難波まで鉄道で30分程度と通勤・通学圏が広い立地が特徴であり、京都、神戸、奈良、和歌山へもアクセスしやすい。

③市内交通網の充実

市外だけでなく市内の移動も奈良交通の路線バスに加え、市営デマンド交通とコミュニティバスが充実しており、暮らしやすさを高めている。地域公共交通サービスの提供を比較的受けやすいエリア（鉄道駅から半径1kmもしくは路線バスとコミュニティバスの停留所から半径300mのエリア内のいずれかに含まれるエリア）に市内人口の96.8%が居住するが、そこに事前予約制のデマンド交通が加わることで市内全域の交通をカバーしている。



コミュニティバス

（2）産業の魅力【しごとば】

①創業支援・企業誘致

企業進出、市内企業の事業拡張の推進にあたっては、創業支援制度の充実による「しごとば」の魅力が強みとなっている。

②香芝市商工会による創業・産業支援

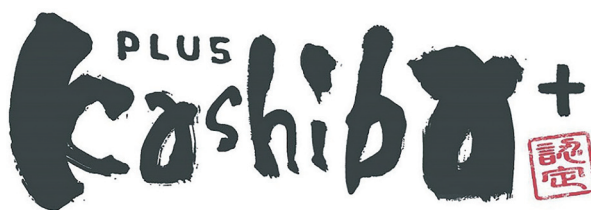
香芝市商工会が中心となって開催されている創業塾「みらい塾」では、创业者の育成に力を入れている。経験豊富なメンターから起業に必要な知識を学び、同商工会青年部員や金融機関のサポートを受けて実現性の高い事業計画を作り上げ、起業につなげている。創業後も塾での人脈を企業経営に活かせるというメリットもある。



みらい塾の様子

③Kashiba+（カシバプラス）

Kashiba+（カシバプラス）とは香芝市商工会によって設けられた地域ブランド認定制度であり、香芝市の地域活性化と市民一人ひとりが愛着と誇り（シビックプライド）をもつまち「香芝」を創るための取組である。素材に作り手の思いをプラスするイメージをブランド化するものであり、食品や工芸品などの製品だけでなく、香芝のイベントや風景等、魅力的な製品等が幅広く認定されている。



地域ブランド認定制度 Kashiba+



ちよこの想ひ



ダルマもりソックス

（３）観光の魅力【めぐりば】

①スマホアプリ「かしば文化財観光ナビ」

アプリをスマートフォンにダウンロードすることで香芝市の古墳や遺跡、寺院や神社、美しい自然を、地図や AR（拡張現実）などで楽しく旅行できる。

②屯鶴峯

県指定天然記念物の屯鶴峯は千数百万年前に二上山の火山活動によって火砕流や火山灰などが堆積したものである。その後の地殻変動によって隆起し、さらに長い年月の間に侵食されて現在の姿になったものであり、古くは古墳の石棺材や寺院の基壇などの石材として利用されていた。遠くから見ると鶴が屯しているような奇観のため、この名称で呼ばれるようになったと言われている。



屯鶴峯

香芝市では訪れたことがない方に向けてウェブサイトで屯鶴峯のパノラマ画像を VR（仮想現実）で体感したり、普段は入れない屯鶴峯の地下壕を三次元測量して作成した動画を YouTube チャンネルで視聴できるようにするなど、この地の魅力を伝えて観光客の増加に力を入れている。

<ウェブサイト>

屯鶴峯を VR パノラマ画像で体感しよう！

<https://www.city.kashiba.lg.jp/outside/VR/>

[kashiba153.html](https://www.city.kashiba.lg.jp/outside/VR/kashiba153.html)

<ウェブサイト>

三次元測量の動画

[https://www.youtube.com/watch?v=](https://www.youtube.com/watch?v=QpDj3h8uubs)

[QpDj3h8uubs](https://www.youtube.com/watch?v=QpDj3h8uubs)

③映画のロケ地巡り

映画のロケ地となったスポットを訪れるのも楽しい。2017 年に公開された映画「天使のいる図書館」のロケ地があるので、映画を鑑賞してからロケ地巡りに出かけるのもよい。



マスコットキャラクター カッシー

なお、葛城地域観光協議会のロケ地マップでは、マスコットキャラクターのカッシーや香芝市民図書館の他、次の 5 か所が紹介されている。

1. 穴虫西地区
2. 屯鶴峯
3. 千股池周辺
4. 杵築神社（狐井）
5. 大坂山口神社（穴虫）

<ユナイテッドエンターテインメント公式チャンネル 映画「天使のいる図書館」ロケ地紹介 香芝市編>

[https://www.youtube.com/watch?v=](https://www.youtube.com/watch?v=RBvylV_SaaI&t=74s)

[RBvylV_SaaI&t=74s](https://www.youtube.com/watch?v=RBvylV_SaaI&t=74s)

住民のまちに対する誇りを高め、「子育てをするのであれば香芝だ」と考える若い世代を増やすためには、多様化した価値観を理解し、共感される取組につなげられるかが鍵になる。

（林 大祐）